

私たち国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) は、研究開発に必要とされる科学技術 情報の収集・体系化・利用の仕組みづくりなど を通じて、新しい知の発掘、イノベーション創出、 課題解決への貢献を目指しています。

目 次

J-STAGE f報をつかう× 未来をつくる	P. 2
J-STAGE Data 研究データをオープンアクセスで公開	P. 2
Jxiv	P. 3
J-GLOBAL 「つながる、ひろがる、ひらめく」をコンセプトに 研究者の発想を支援	P. 3
Japan Link Center 永続的識別子 "DOI" 登録機関	P. 4
researchmap ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 4
JDreamIII 国内外の科学技術文献情報を日本語で一括検索、 国内最大級の科学技術文献データベース	P. 5
JDream Expert Finder 研究者情報から最適な研究パートナーを検索	P. 5
JDream SR 大量の臨床・医薬論文からAIが 効率的に短時間でエビデンスを抽出	P. 6
JDream Innovation Assist 論文・特許・ニュースのAI解析で 技術動向や競合関係を瞬時に可視化	P. 6
JREC-IN Portal	Р. 7
NBDC データベース統合を通じて新たな知識へ	Р. 7
JST プロジェクトデータベース ——• JSTが推進する研究課題情報を一元検索	P. 8
GRANTS — ● 国の研究課題を統合的に検索	P. 8
日中・中日機械翻訳 科学技術文献の高精度な日中・中日機械翻訳を オンラインで提供	P. 9
情報資料館	P. 9
IIPSTI —	o 10

JST情報サービスをまとめて検索

Email: contact@jstage.jst.go.jp
https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja



J-STAGE

情報をつかう×未来をつくる

J-STAGE (科学技術情報発信・流通総合システム) は、日本から発表される科学技術(人文科学・社会科学を含む)刊行物の全文を公開するプラットフォームです。国内の 2,300 を超える発行機関が、約 4,000 誌のジャーナルや会議録等の刊行物から 560 万件を超える記事を公開しています。





充実のコンテンツ

- ― 理系・文系問わず幅広い分野を網羅
- ― 最新の研究成果から歴史的に重要な論文まで、一律に検索・閲覧が可能

優れたアクセス性

世界中の様々なデータベースから J-STAGE 掲載記事にアクセス CiNii、Inspec、Scopus、PubMed、DOAJ等

My J-STAGE でもっと便利に

- ― よく使う検索条件を保存して、マイページから呼び出し可能
- ― お気に入り登録した資料/記事の関連情報をメールでお知らせ

対 象 学協会、研究者、大学等教育機関、研究機関、企業等

J-STAGE Data

連絡先

Email: data-contact@jstage.jst.go.jp https://jstagedata.jst.go.jp/



J-STAGE

研究データをオープンアクセスで公開

J-STAGE Data は、J-STAGE の登載記事に関連するデータを登載・公開するデータリポジトリです。オープンサイエンスの潮流に沿ったデータの共有と再利用により新たな価値を創出し、論文根拠データの公開を実現します。





(2024年3月時点)

論文とは独立にデータの検索・引用・再利用が可能に

- —DOI が自動付与され、オープンアクセスのデータとして全世界に流通
- ―データの転載、共有、再利用等、著作権者が定めた条件下での利用が可能
- ―データを、より見やすく、見つけやすく、引用しやすく、利用しやすく

Jxiv





プレプリントの公開で、研究が加速する

Jxiv(ジェイカイブ)は、プレプリント(査読前論文)をオープンアクセスで公開する、プレプリントサーバです。

論文を、ジャーナル(※ 1)への投稿前あるいは投稿と同時にプレプリントとして公開することで、査読・リバイスを経てジャー ナルから出版されるまでの期間にも、自身の研究成果をいち早く公表できます。これにより、研究コミュニティからのフィードバッ クのサイクルが早まり、プレプリント投稿者自身の研究の加速だけでなく、研究コミュニティ全体の活性化が期待できます。Jxivは、 研究論文の迅速な公開と共有により、研究成果に関する先取権獲得の支援、研究開発の加速、グローバルな学術研究への貢献や公 共知の形成への寄与を目指します。(※ 1)プレプリント公開済み論文の受付を許容する全てのジャーナル。J-STAGE ジャーナルに限りません。

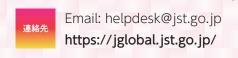
- 一分野を問わず、日本語・英語のプレプリントの投稿が可能。
- ― 投稿には researchmap または ORCID アカウントが必要、閲覧は 誰でも可能。



J-GLOBAL

対 象 研究者、大学等教育機関、各種試験研究機関、企業

J-GLOBAL





「つながる、ひろがる、ひらめく」をコンセプトに 研究者の発想を支援

J-GLOBAL は、全 10 種類の科学技術情報を横断検索できるサービスです。JST が体系的に整備してきた約 36 万人分の研究者情報、約 6.626 万件の文献(1958 年以降)、約 1.554 万件の特許(1993 年以降)、化学物質、 科学技術用語等の基本情報を相互に紐づけ、JST 内外のサイトやデータベースへのリンクとともに提供すること で研究者の発想を支援します。

つながりを活かした充実したサービス

- 一 文献、特許、研究課題等の検索結果から関連する研究者を探す等の検索も可能
- ― JST の内部サイトに加え、外部サイトへのアクセスも充実
- シソーラスを搭載し同義語・表記ゆれを吸収した検索を実現







Article 約 6.626 万件







研究課題 Research Project 約 2.7 万件



Organization 約88万機関



科学技術用語 Technical Term 約 34 万語



化学物質 Chemical Substance 約 380 万件









研究資源 Research Resource 約 2,600 件

Japan Link Center



Email: info@japanlinkcenter.org Japan Link Center https://japanlinkcenter.org/



永続的識別子"DOI"登録機関

Japan Link Center (JaLC) は*、国内の学術的コンテンツ (雑誌論文、学位論文、書籍 (報告書)、研究データ、e ラーニング等)に DOI (Digital Object Identifier)を登録しています。JaLC の会員となり DOI を登録することで、学術コンテンツに対しリンク切れのない持続的なアクセスが保証されます。







(2024年3月末時点)



* 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)、国立研究開発法人 物質・材料研究機構 (NIMS)、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構国立情報学研究所 (NII)、国立国会図書館 (NDL) が共同で運営。

JaLC を通じて、Crossref や DataCite への DOI 登録、ORCID への業績登録も可能です。

対 象 研究者、大学、研究機関

researchmap



► researchmap

https://researchmap.jp/public/inquiry/

https://researchmap.jp/



日本の研究者 すぐにみつかる、つながる。

researchmap は、研究者による業績管理及び発信を支援するデータベース型研究者総覧です。約36万人の国内研究者が登録しています。プロフィール、執筆論文等の研究業績情報の公開機能、研究者同士のコミュニケーションの促進、産学連携や共同研究の候補を見つけるためのコミュニティ機能等を提供し研究活動を総合的に支援します。









(2024年3月時点)

JDream III





国内外の科学技術文献情報を日本語で一括検索、 国内最大級の科学技術文献データベース

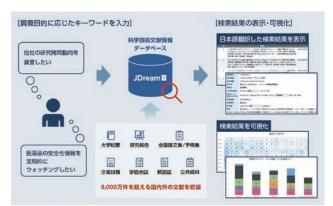
JDream Ⅱは、科学技術や医学・薬学関係の国内外の文献情報を収録した日本最大級の科学技術文献データベースです。JST が作 成するデータベースを、株式会社ジー・サーチが運用・サービス提供しています。文献の書誌情報に加え、日本語によるタイトル /抄録、JST が体系的に整備するシソーラス用語、引用情報、国際特許分類等を収録しており、科学技術全分野の情報を容易に収 集できるサービスです。

海外文献も日本語で検索、内容把握が可能

国内外の科学技術系ジャーナル、学会誌、会議録、公共資料、技報等を収録。外国語文 献は日本語タイトル、抄録を収録していますので、日本語キーワードでの検索が可能で

ニーズに合わせた使いやすい検索画面を用意

キーワードで直感的な検索ができる「クイックサーチ」と、より詳細な検索ができる「ア ドバンスドサーチ」、ニーズに合わせた2つの検索インターフェースをご利用できます。



对 象 企業、大学等教育機関、各種試験研究機関、学協会、研究者

JDream Expert Finder



| Dream Expert Finder Email: gsh-jd-help@cs.jp.fujitsu.com

https://jdream3.com/lp/expert_finder/



約185万人の研究者情報から最適な研究パートナーを検索

株式会社ジー・サーチが提供する JDream Expert Finder は、研究課題解決に最適な研究パートナーやキー・オ ピニオン・リーダー(KOL)の探索を実現するサービスです。JDreamⅢの約5.100万件以上の文献情報を複雑 ネットワークの理論に基づき解析・抽出した約 185 万人の研究者情報を収録しています。

自然文やキーワードから簡単に研究者を探索

技術課題や研究開発テーマ等を、文章やキーワードで検索でき、分野に知見のあ る研究者候補をご覧いただけます。

候補となる研究者の特徴・実績をレポート化

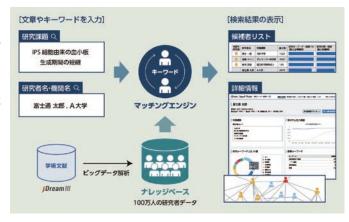
― 知見のある分野、研究キーワード推移、最近の発表論文、人脈マップなど、研究 者の特徴・実績をレポートでご覧いただけます。

有望な研究者の探索機能搭載

将来が期待される研究者を媒介中心性の成長パターンにより早期に発掘できます。(※) ※この機能は、産学官連携プロジェクト「ライフ インテリジェンス コンソーシアム (LINC)」との共同研究です。

科研費研究課題を搭載

2024年2月1日よりJDream Expert Finder の情報源に科研費データを追加し、科研費研 究課題に基づく研究者探索サービスを提供しています。



JDream SR



Email: gsh-jd-help@cs.jp.fujitsu.com
https://solution-info.g-search.jp/sr/sr-solution



大量の臨床・医薬論文から AI が効率的に 短時間でエビデンスを抽出

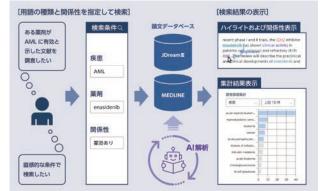
株式会社ジー・サーチが提供する JDream SR は、JDream II、及び MEDLINE が収録する国内と世界の医学薬学文献情報を効率的に検索することができます。特にゲノム医療や医療技術評価(HTA)に必要な遺伝子変異、薬剤、疾患、アウトカム指標等の関係を AI にて解析し、医師や評価者が必要な情報を効率的に抽出する新しいサービスです。

ゲノム医療におけるエビデンス抽出を支援

遺伝子名・変異名・疾患名・薬剤名等の医療用語と、それらの関係性を用いた効率的な 文献検索により、ゲノム医療に欠かせないキュレーション業務を支援します。

医療技術評価 (HTA) /医療経済アウトカムリサーチ (HEOR)

製薬/医療機器メーカーや政策分析に携わる機関における薬剤や医療技術の医学的、社会的、倫理的、経済的な価値を総合的に評価するための調査業務を支援します。



|Dream SR

对 象 企業、大学等教育機関、各種試験研究機関、学協会、研究者

JDream Innovation Assist



Innovation Assist
Email: gsh-jd-help@cs.jp.fujitsu.com
https://ia.jdream3.com/



論文・特許・ニュースの AI 解析で技術動向や競合関係を瞬時に可視化

株式会社ジー・サーチが提供する JDream Innovation Assist は、「論文」「特許」「ニュース」を同時に分析・グラフ 化することができるサービスです。観点と分析シナリオに基づいて 2 1 種類のグラフを表示し、技術戦略や研究戦略 策定に必要な情報収集、競合分析、研究テーマ探索のプロセスにおける分析作業を支援します。

簡単操作で本格分析

分析に必要なのは分析シナリオの選択とキーワードのみ。利用者のレベルにあわせた分析方法を お選びいただけます。

技術動向とファクトを一度に把握

学術文献、知財文献、業界新聞を時間軸で見ることにより、技術動向や技術トレンドなど多角的に把握できます。日々の情報活用の中で、新たな気づきをサポートします。

多彩な分析グラフ

 市場・研究・知財観点からのトレンド分析や競合分析など、目的にあわせて自動でグラフを描画 します。グラフ種や表示軸は自由にカスタマイズすることができますので、高度な分析にも対応 可能です。



JREC-IN Portal



Email: jrecinportal@jst.go.jp https://jrecin.jst.go.jp/



REC-IN

研究人材のためのキャリア支援ポータルサイト

JREC-IN Portal は、博士課程の学生、ポストドクター、研究者及び技術者等の方々 を対象に、キャリア開発に資する情報を提供するサイトです。大学等研究機関や民 間企業等における研究人材向け求人情報を年間 26,000 件以上公開しているほか、 キャリア形成・能力開発のための支援コンテンツ(読み物コンテンツ、e ラーニング 教材等)やイベント情報を提供し、研究人材の活躍の場の拡大を支援しています。







(2024年3月時点)

求職者向けの便利な機能

条件に合った求人情報を知らせるマッチング メール、履歴書・業績リスト作成支援機能、さ らにPR情報(経験、実績等)を登録して、求 人機関や職業紹介事業者から照会メールを受け 取れます。



対 象 学協会、研究者

NBDC



お問い合わせフォーム: https://form2.jst.go.jp/s/contact_nbdc https://biosciencedbc.jp/



NBDC

データベース統合を通じて新たな知識へ

NBDC 事業推進室では、新たな知識の創出を促進す るため、生命科学分野のデータの共有と統合に向け た研究開発とサービス提供を行っています。

現在、国内外のデータベースを探せる「Integbio デー タベースカタログ」、データベースを一括横串検索で きる「生命科学データベース横断検索」、データを保 全・公開する「生命科学系データベース アーカイブ」









を提供しています。また、分野ごと(データ種別や 生物種別)の中核的なデータベースの研究開発を支 援する「統合化推進プログラム」や、データ統合利 用の基盤技術開発を推進しています。

JST プロジェクト データベース

連絡先

テロジェクトデータベース Email: projectdb_contact@jst.go.jp https://projectdb.jst.go.jp/

JST



JSTが推進する研究課題情報を一元検索

JST プロジェクトデータベースは、JST が競争的資金制度等により推進する研究課題の関連情報を一元的に検索・閲覧できるサービスです。2万6,900件以上の研究課題、1万1,600報以上の成果報告書を検索することができます。フリーワード検索のほか、制度・事業・研究領域、研究者名、所属機関等による詳細検索が可能です。







(2024年3月時点)



本データベースはデータ整備が完了したものから順次情報を提供してまいります。 また、研究開発マネジメントに向けてデータ分析等を行われる方を対象に、申請に基づくデータの一括提供を行っております。

対 象 研究者、技術者、大学等教育機関、各種試験研究機関、企業

GRANTS



GRANTS
研究課題統合検索

Email: grants-contact@jst.go.jp https://grants.jst.go.jp



国の研究課題を統合的に検索

GRANTS(研究課題統合検索)は、国の政策等に基づき研究開発を推進する事業により行われている研究課題について、実施機関や事業の壁を越えて統合的に検索できるサービスです。現在は、JSTプロジェクトデータベースの研究課題2万6,900件以上、および、科学研究費助成事業データベース(KAKEN)に収録されている研究課題104万件以上を検索することができます。



GRANTS UNIMARED IN		
REMINING CANTO A. BOSINE EXPERIENCES FRACTORIO CONTROLO CENTROLO CANTONICO C		
22-2+6	100	

の大いなか、中央は他的 レコーサセット ロッドマン ロッドマンスののになる ファンチャンの数	97,312,41084	
研究者情報 研究者情報		
明天教の内閣構図 研究者の内閣構図 研究者集中		

今後は参画するファンディング機関を段階的に拡充し、 検索対象を広げていく予定です。これにより、企業側か らのシーズ検索や研究機関・研究者側からの情報収集に 貢献し、関係者の方々との「つながり」を促進します。

日中·中日機械翻訳





科学技術文献の高精度な日中・中日機械翻訳を オンラインで提供

日中・中日機械翻訳システムは、JST と京都大学において開発したニューラル機械翻訳エンジンによる、中国語から日本語、日本語から中国語への翻訳が可能です。翻訳できる文は、中国語あるいは日本語の科学技術文献及び特許文献で、科学技術論文等をもとにした500万文対以上の中国語と日本語の対訳コーパスを用いた深層学習により、高









精度な翻訳を実現しています。また、日英・日中の 論文対訳コーパス ASPEC についても申請・利用い ただくことが可能です。

対 象 研究者、企業、学協会、図書館、大学等教育機関、各種試験研究機関

情報資料館



Email: jst-lib@mr.jst.go.jp https://jipsti.jst.go.jp/jst-lib/



JST が収集した約 12 万冊の資料が閲覧できる 閉架式の図書館

情報資料館は、JSTが 文献データベースに収録するために収集 した学術雑誌を所蔵する閉架式の図書館です。科学技術、医学・ 薬学関係の学術雑誌、会議録/要旨集等、直近3年分の学術雑 誌を中心に所蔵しており、閲覧が可能です(複写サービスは有料 です)。ご来館の際は、ホームページの予約フォームにてご予約 ください。



・開館日時: 月曜日、火曜日、木曜日、金曜日 10:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 16:00 (閲覧・複写申込 10:00 ~ 11:30, 13:00 ~ 15:30)

・休館日:水曜日、土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月28日~1月4日) JSTの創立を記念する日(10月第1金曜日、但し、10月1日が金曜日の場合は10月8日)

JIPSTI







JST情報サービスをまとめて検索

JIPSTI (科学技術情報プラットフォーム) は、JST 情報 サービスの総合案内ポータルサイトです。Jxiv、 J-STAGE、J-GLOBAL、JaLC、researchmap、JREC-IN Portal、JDreamⅢ、NBDC、JST プロジェクトデー タベース、日中・中日機械翻訳等へのリンクがひとまと まりになっているほか、各種サービスのメンテナンス、 新機能リリース、イベント等の情報も提供しています。



25Tは、研究開発に必要とされる科学技術情報の収集・体系化・利用の仕組みづくりなどを通じて 新しい他の発展、イノベーション側は、深限解源への音数を目指しています。





オープンサイエンスの推進



Email: openscience@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/all/about/houshin.html



インフラとファンディング両面でのオープンサイエンス推進

JST のファンディング機関及び科学技術情報のインフラ運営機関としての <mark>両方</mark>の立場か<mark>ら</mark>、総合的にオープンサイエンスを推進しています。

インプラ面では、これまで本書で紹介してきた各サービスの拡充・体制強 化により、オープンアクセス促進に取り組んでいます。

ファンディング面では、オープンサイエンスに関わる国の政策や海外の潮 流を踏まえ、機構の方針として「オープンサイエンス促進に向けた研究成 果の取扱いに関する J<mark>ST の基本方針」</mark>を整備し、JST ファンディング成果 における論文の OA 化や研究データの取扱いについて定めています。

その他、関連機関と連携した Japan Open Science Summit (JOSS) の共催や、 CHORUS など海外機関と連 携してのオープンサイエンス 推進等に取り組んでいます。



オープンサイエンス促進に向けた研究成果の取扱いに関する IST の基本方針

仓和 4 年 4 月 1 日 改定

近年、情報通信技術 (ICT) の急速な発展によって、研究成果 (論文、生成された研究デ - タ等) の共有や相互利用が容易になったことで、新たな研究の進め方や手法であるオー ンサイエンスの概念が世界的に急速な広がりをみせている。我が国においても世界の潮流 を踏まえてオープンサイエンスが推進され、第6 期科学技術・イノベーション基本計画で は、社会全体のデジタル化や世界的なオープンサイエンスの潮流を捉えた研究そのものの DXを通じて、より付加価値の高い研究成果を創出して我が国が存在感を発揮することを 目指し、同時に、グローバルな視点からも、オーブンサイエンスの発展に貢献するとしてい る。その取り組みとして、公的資金による研究データの管理・利活用の推進が挙げられてお り、内閣府により「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」。

IST では 2013 年に「オープンアクセス3に関する IST の方針」、2017 年に「オープンサイ エンス促進に向けた研究成果の取扱いに関する JST の基本方針」(以下、「基本方針」と呼 ぶ。)を策定し、JST が研究資金を配分し実施する研究プロジェクト等(以下、「研究プロジ ェクト」と呼ぶ。) において得られた研究成果について、オープンサイエンス促進に向けた 環境の整備を図ってきた。2022 年においては、国内外の状況を反映すると共にオープンサ イエンスのさらなる推進のため、2017年の基本方針を改定する。

JST は、本方針を推進するにあたり、研究資金の配分を受ける機関や関係者と連携を図っ ていくと共に、オープンサイエンス促進に必要となる科学技術質報の技術促進のための基 整整備や、研究者や市民のコミュニケーションの場件りにも取耐んでいく。 以下に、研究成果の取扱いについて具体的な方針を述べる。

1. 研究成果論文のオープンアクセス化につい

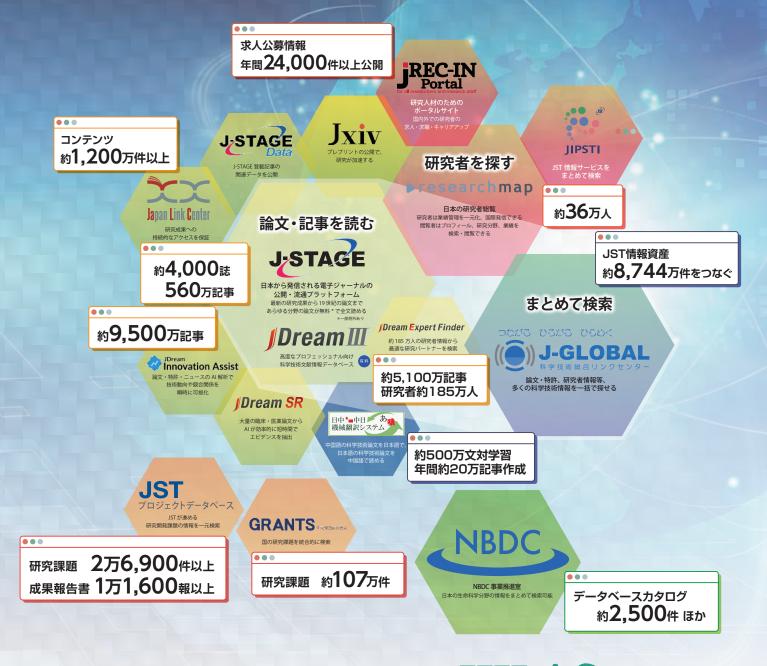
研究プロジェクトの成果に基づく研究成果論文(以下、「研究成果論文」と呼ぶ。) はオー ブンアクセス化することを原則とする。全ての研究成果論文を対象とするが、特に、査読済

¹ 令和3年3月26日閣議決定

² 内閣府 統合イノペーション戦略推進会議(令和3年4月 27 日)

³ 論文等の学術情報をインターネットから無料で人手でき、誰でも割約なくアクセスで るようにすること。

Platform & Databases 16



Information assets 10





約6,626万件



特許約1,554万件





約88万機関



科学技術用語 約34万語



約380万件



約6.1万件





研究資源 約2,600件



〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ サービス支援センター(ヘルプデスク担当) TEL:03-5214-8082 Email:helpdesk@jst.go.jp